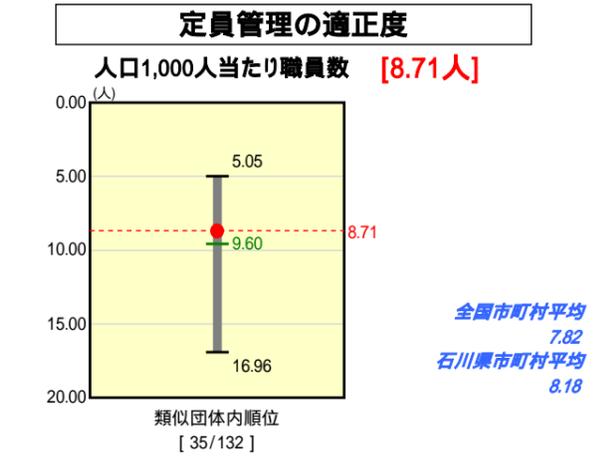
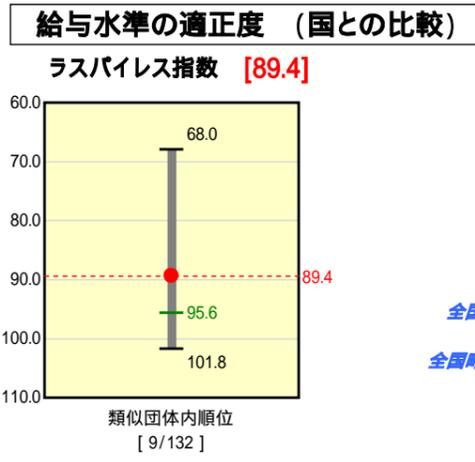
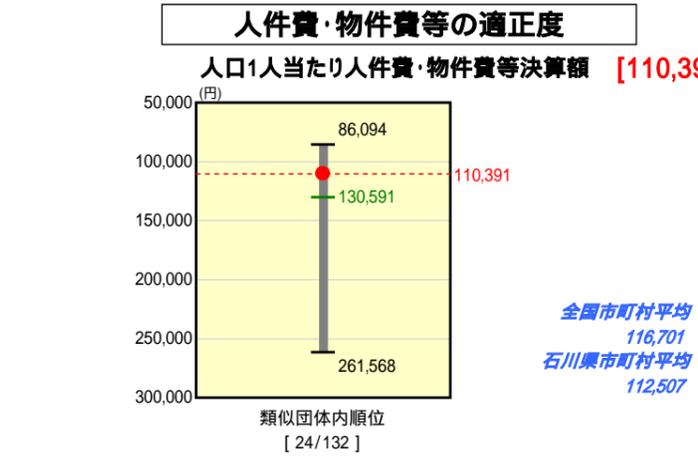
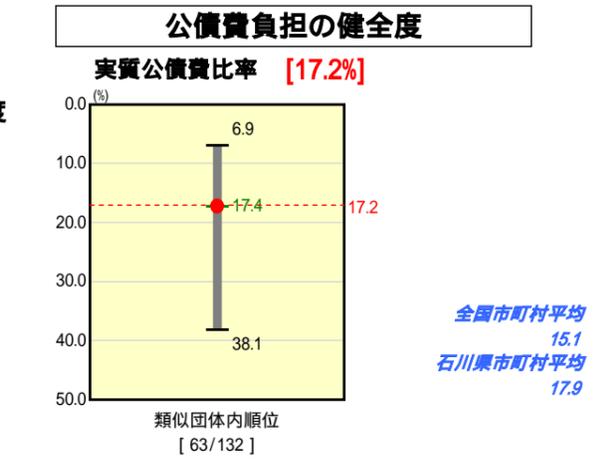
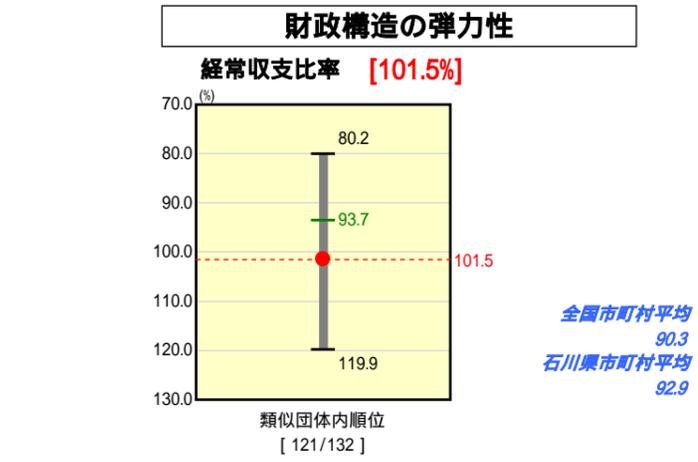
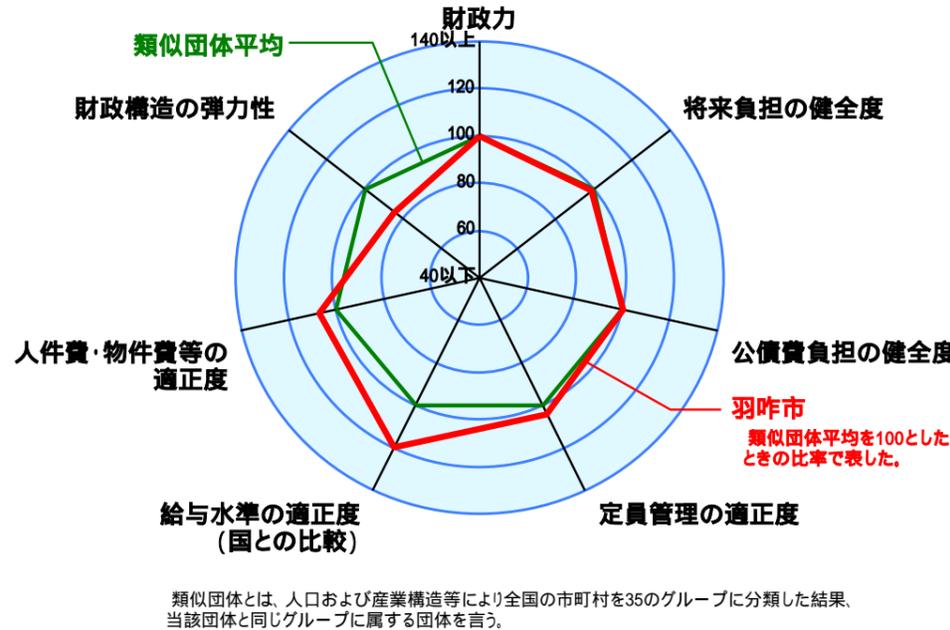
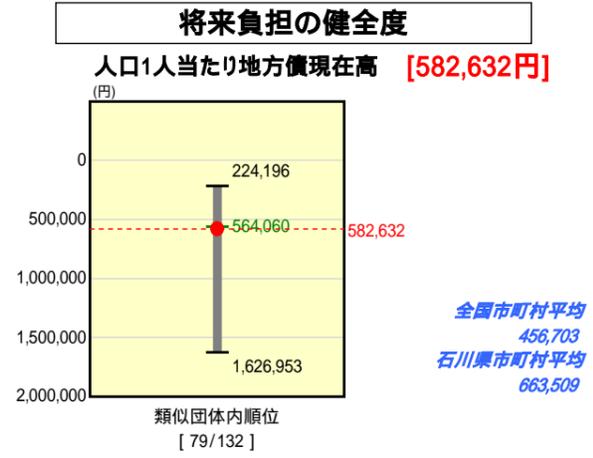
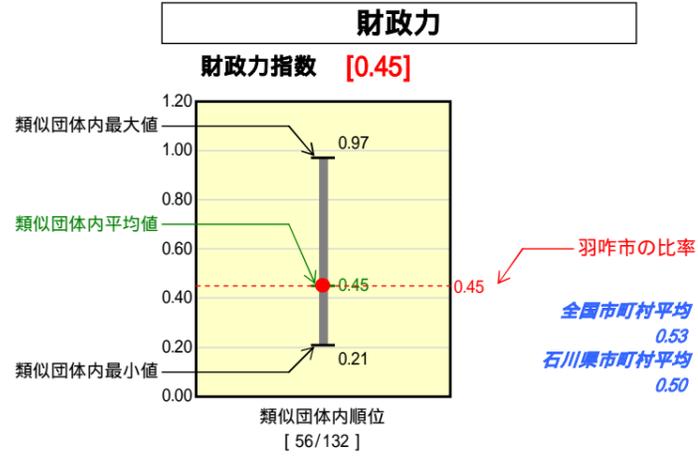


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

石川県 羽咋市

人口	24,792人	(H19.3.31現在)
面積	81.96	km ²
歳入総額	9,302,978	千円
歳出総額	9,261,404	千円
実質収支	29,885	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
市税では増額となったが、それ以上に人口減少などにより交付税が減少傾向にある。こうした状況の中で経常経費の削減に努め、さらに平成21年度までを推進期間とした新行財政改革大綱をのり、財政の健全化に努める。

経常収支比率
人件費(退職金を除く)の削減等により経常経費の総額は減少しているが、団塊世代の大量退職にかかる退職金、広域圏事務組合分担金および土地開発公社補助金の増額ならびに公共下水道事業繰出基準の変更による純増の影響が大きく、経常収支比率が100%を超えることとなった。今後は、さらなる繰出金・分担金の増加により悪化が見込まれるが、人件費の縮減、事業の見直しによる経費の縮減、建設事業の抑制による公債費の削減等により歳出の減を図り、適正な水準になるよう努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることから、類似団体平均と比較して低くなっている。今後、職員の退職に伴い人件費は減少するものの、施設の指定管理制度の導入、事務の民間委託の推進により物件費の増加が見込まれる。

ラスパイレス指数
ラスパイレス指数は徐々に下がり続けており、また平成18年10月から職員の給料を2%カットしていることなどから89.4となった。

全国平均と比べて低い状況にあるが、今後も現在の水準を維持するよう努める。

実質公債費比率
一部事務組合及び債務負担に係る公債費が増大したため平成18年度においては、17.2%となった。平成24年度からは、さらに下水道建設の償還金にかかる繰出金が増加すると見込まれる。このため、地方債に依存することなく中期財政計画に沿った財源に見合う投資的事業の取捨選択により、適正な地方債の借り入れに努める。

人口1人当たり地方債残高
平成17年度においては、瑞穂小学校建設による起債の増加により過去最高となった人口1人当たりの地方債残高は、わずかではあるが元金償還金が減少している。今後は、中期財政計画に基づき新規発行債の抑制を図り、適正な水準になるよう努める。

人口1,000人当たり職員数
職員定員適正化計画に基づき職員数の削減を実施しているところである。職員採用は、退職予定者の50%以内とし、平成9年度331人から平成19年度243人(実績)となった。今後、事業の見直しや民間委託、市役所の機構改革などを進めることにより、引き続き職員数の削減に努めていく。